

令和元年度

「運営に関する計画」

最終評価

大阪市立中大淀幼稚園

令和2年3月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 家庭で大切に育てられ穏やかで人懐っこい子が多いが、言葉で自分の気持ちを表現する経験に乏しく、新しい活動には消極的で環境の変化で不安定になる姿が見られる。園生活の中で就学前教育カリキュラムの「知・徳・体」をバランスよく取り入れた活動を行い、子どもたちが主体的に楽しんで遊ぶ中で自己肯定感を育てる。
- 併設する大淀小学校との幼小連携、大淀保育所が対面にある立地条件を生かした幼保交流、近隣の大淀中学校との交流が本園の特色である。未就園児や地域の人とのかかわりの機会も多い。いろいろな人とふれあう中で周りの人に対する愛情や思いやりの気持ちを育てる。また併設小学校との交流活動を通して、就学への期待感を高める。
- 子育てに対する保護者の関心は比較的高い地域ではあるが、各家庭様々で入園前の個人差も大きい。一人一人の実態に合わせた指導と、子どもたちの健康な体づくりのための基本的生活習慣の自立と食育の大切さを啓発する。

### 中期目標

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「お子さんは幼稚園や家庭・地域などで非常災害が起こった時、自分の身を守る方法を知っていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」「幼稚園は地域の様々な人とかかわりの機会を設け、いろいろな年代の人と触れ合うことができているか」「子どもは年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分かりやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「お子さんは正しい生活習慣（うがい・手洗い・早寝、早起きなど）が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 学校園の年度目標

- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を身につくことができますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は地域の様々な人とかかわりの機会を設け、いろいろな人と触れ合うことができますか」「子どもは年度当初にくらべて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組みを分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 学校園の年度目標

- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「お子さんは基本的な生活習慣が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の園運営全体を通じて、「子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現」「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」のそれぞれの項目において目標達成することができた。

次年度は更に保育内容の充実を図り、子どもたちがいきいきと園生活を過ごす中で、一人一人がその力を発揮し、保護者の方や地域の方々にその姿や成長を見ていただきながら、園の教育内容や教師の教育的意図をもった働きかけについて分かりやすく伝えていきたい。

子どもたちの安全を守りながら、園内外の環境を見直し、更に充実した保育が展開できるよう教職員の連携と資質向上に努めたい。

大阪市立中大淀幼稚園 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは非常災害時に対する避難の仕方を身につけていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな年代の方と触れ合うことができていますか」「子どもは年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切に、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分かりやすく発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> </ul>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>非常災害時に自分の身を守るための避難の方法を身につけ、命の大切さに気づく保育を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>立案した年間計画に基づいて訓練を実施する。 年10回</li> <li>併設小学校との合同避難訓練、合同研修を実施する。 年3回</li> <li>関係諸機関や家庭と連携し避難訓練を実践する。 年2回</li> </ul>	A
<p>取組内容②【施策2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>異年齢交流保育や地域の方とのふれあい、様々な人とのかかわりを深める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異年齢交流保育を実施する。 週1回以上</li> <li>様々な人との交流活動を実施する。 年12回以上</li> <li>あいさつ隊とあいさつに関する取組を実施する。 学期1回</li> </ul>	A

<p>取組内容③【施策2、道徳心・社会性の育成】 小学校就学に向けて、なめらかな接続のための幼小連携に努める。</p>																	
<p>指標 ・幼小交流の年間計画を作成し、交流活動を実施する。 各学年1回以上 ・教職員が小学校教育に理解できるように合同研修や打ち合わせを実施する。 年5回</p>	A																
<p>取組内容④【施策3、地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 園の保育内容や取組みを分かりやすく保護者・地域に発信し、園生活の中で育つ子どもの成長を伝え子育て支援につなげる。</p>																	
<p>指標 ・毎月クラスだよりを発行する。 月1回 ・パワーポイントや写真掲示を使って園の取組を知らせる。 年5回 ・ホームページの更新を行う。 月3回以上</p>	A																
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>																	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月のアンケート調査「子どもは非常災害時に対する避難の仕方を身につけていますか」の項目について、肯定的評価が86%だった。</li> <li>・年間計画に基づいて計画通り避難訓練を行うことができた。また、実施後、職員で話し合いをし、改善点など共通理解をしたうえで次の訓練にいかすことができた。</li> </ul> <p>(年間計画)</p> <table border="1" data-bbox="343 1064 1300 1321"> <tr> <td>5月</td> <td>火災(管理作業員室から出火)</td> <td>12月</td> <td>不審者対応 ・預かり保育で実施する</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>火災(砂場横民家から出火) ・預かり保育で実施(火災)</td> <td>2月</td> <td>火災(好きな遊びの時の避難について)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>880万人訓練(幼小合同)</td> <td>3月</td> <td>・預かり保育で実施(防犯)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>火災(小学校から出火)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応の訓練をする前に教職員で避難経路の確認や役割分担を話し合い共通理解することで、訓練に対しての意識を再確認することができた。 子どもには訓練後に振り返りを行い「お・は・し・も」の視覚カードを使って指導をしたり、クラスでも絵本や紙芝居を使ったりして指導を行ったことで、避難の仕方について学ぶことができた。</li> <li>・地域で行う「大阪880万人訓練」に幼小合同で避難訓練を行った。放送を聞き、小学校に避難することや、津波に対する避難の仕方を教職員や子どももあらためて意識する機会となった。また、小学生の避難する姿を見ることで、子どもが素早く避難することの大切さを学ぶことができ、その後の訓練につながった。</li> <li>・避難訓練を降園前に設定し、訓練時の様子を保護者に見てもらうことで幼稚園での避難の仕方を知ってもらう機会となった。また、避難訓練の様子をホームページに掲載したり、パワーポイントを使い訓練の様子を知らせたりすることで家庭でも防犯・防災について啓発することができた。</li> <li>・一時預かり事業(のびのびルーム)で避難訓練を行ったことで、指導員も避難の仕方を共通理解することができた。</li> </ul>		5月	火災(管理作業員室から出火)	12月	不審者対応 ・預かり保育で実施する	6月	火災(砂場横民家から出火) ・預かり保育で実施(火災)	2月	火災(好きな遊びの時の避難について)	9月	880万人訓練(幼小合同)	3月	・預かり保育で実施(防犯)	11月	火災(小学校から出火)		
5月	火災(管理作業員室から出火)	12月	不審者対応 ・預かり保育で実施する														
6月	火災(砂場横民家から出火) ・預かり保育で実施(火災)	2月	火災(好きな遊びの時の避難について)														
9月	880万人訓練(幼小合同)	3月	・預かり保育で実施(防犯)														
11月	火災(小学校から出火)																

取組内容②

- ・2月のアンケート調査「幼稚園は、地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな年代の方と触れ合うことができているか」の項目は、肯定的評価が93%、「子どもは、年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目は85%であった。
- ・クラス間の交流活動は週1回以上行った。年度当初は、5歳児が4歳児の手伝いをする機会や集会活動の時間を設け、互いに親しみをもち、一緒に活動する楽しさを感じることができるようにした。園外保育の際には、5歳児と4歳児で手をつないで歩くようにすることで、より親しみの気持ちが膨らんだ。また、好きな遊びの時間にも一緒に遊ぶ姿もあり、その中で5歳児は年長児としての自覚をもち、優しく接しようとする姿が見られるようになった。運動会や生活発表会などでは、互いの演技を見合う機会を設けることで、刺激を受け合い、4歳児は憧れをもち、やってみようとする姿、5歳児は経験を生かして優しく教えてあげる姿につながった。
- ・保育所や中学校との交流は、次の通り行った。

保育所	1学期	1回（顔合わせ）
	2学期	3回（ふれあい交流・ふれあい作品展・保育所での交流）
	3学期	1回（幼保小交流）
中学校	2回（大淀中学校職業体験1回・大淀中学校ふれあい交流1回）	

事前に職員同士が打ち合わせを行い、共通理解をして活動を進めたことで、子どもたちが安心して交流する姿につながった。打ち合わせの際に、様々な意見交換をする中で、担任の資質向上にもつながった。

- ・未就園児3歳児子育て支援活動（たんぽぽクラブ）の子どもたちとも、5歳児を中心に朝の身支度の手伝いをしたり、一緒に体操やふれあい遊びをしたりする機会を通して、親しみの気持ちを深めた。
- ・地域の方との交流は、次の通り行った。

絵本の会	北区絵本の会の方に絵本を読んでもらう（学期に1回）
ふれあい盆踊り	運動会で行う盆踊りの指導をしていただく
大淀東地区敬老の集い	地域の方に歌を聴いてもらう（年長児）
大淀東食事サービス訪問	利用者の方とのふれあい

地域の方に温かく接していただいた経験が、子どもたちが進んで様々な人に関わろうとする姿につながり、自己肯定感が育まれた。また、未就園児活動「わくわくひろば」や「はぐとこ」も行い、様々な経験を通して年下の友達に関わる楽しさを感じた5歳児は、すすんで遊びに誘い、優しく接しようとする姿が見られるようになった。

- ・あいさつに関する取組は、次の通り行った。

1学期	6月（年長児）	2学期	12月（年長児）	3学期	2月（年長児・年少児）
-----	---------	-----	----------	-----	-------------

「あいさつ隊」として活動することで、役割意識も芽生え、大きな声であいさつをする姿が見られた。他にも、あいさつに関する絵本の読み聞かせを行ったり、「あいさつのうた」のダンスをしたりする取り組みも行った。進んであいさつをする姿を十分に認めることで、友達同士でもあいさつをする姿が増えた。

### 取組内容③

- ・2月のアンケート調査「幼稚園は、遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校の連携活動を工夫していますか」の項目は、肯定的評価が 93%であった。
- ・小学校との交流は、年間計画に沿って、次の通り実施した。

1年生	幼小交通安全教室・幼保小交流活動
2年生	絵本読み聞かせ交流
3年生	七夕のつどい
4年生	給食交流
93生	ダンス交流・音楽会の歌を聴いてもらう
6年生	プール見学・プール交流・運動会の演技を見せてもらう・運動会の遊びを見てもらう
全学年	大淀フェスティバル・みんなで仲良く顔合わせ・みんなで仲良く・ふれあい作品展

小学生が優しく接してくれたり、活動を見せてくれたりすることで、親しみや憧れの気持ちを持ち、就学への期待や安心感が育まれたりした。行事の内容に合わせ、事前活動を設けることが、安心して当日を迎える姿につながった。事後にも振り返りの時間を持ち、プール交流や給食交流の後にはお礼の絵をかいて届けた。小学生が喜んでくれる姿を見ることで、小学生への親しみや就学への期待がさらに高まった。

- ・交流の前には打ち合わせを行い、子どもの実態に合わせて幼小連携を進めることができるようにした。今年度の子どもの実態に合わせて内容を検討し話し合うことで、子どもたちが活動の楽しさを十分に味わったり、小学生への親しみが深まったりする内容となった。

### 取組内容④

- ・2月の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく発信していますか」の項目について、肯定的評価が91%だった。
- ・毎月のクラスだよりは、その月に子どもが頑張ったことや、できたことを担任がわかりやすく伝えることができる機会となった。また、その中で教師のねらいや保育の意図に下線を引いたり、太字にしたりすることで保護者にも幼児期の大切さを知ってもらうことができる機会になった。また、配付するだけでなく、正門にクラスだよりを貼り出すことで保護者も熱心に見られる姿があり、関心を高めることにつながった。
- ・毎日の降園時の連絡はその日のクラスの様子を伝え、月末には保育室降園を行い、クラスでの活動を見てもらったり、伝えたりすることで幼稚園教育に対する理解につながった。
- ・子どもの様子をパワーポイントで見せ、保育のねらいや意図をわかりやすく伝えた。また、同時に写真掲示を行うことで、子どもの成長やねらいを考えた保育内容であることを理解してもらえる機会となった。
- ・小学校のホームページに日ごろの幼稚園の様子や園行事の子どもの姿を更新したことで園の保育内容や取組をわかりやすく伝えることができた。また、入園募集や未就園児活動については、適時更新することができた。

## 次年度への改善点

### 取組内容①

- ・年間計画を見直し、時期や子どもの様子を考えたうえで計画し避難訓練を行う。
- ・小学校の研修に積極的に参加し、教職員間で共通理解をする。
- ・避難訓練の大切さをホームページなどで啓発し、保護者も一緒に訓練に参加することができるように計画をする。

### 取組内容②

- ・異年齢で関わって遊ぶ楽しさを感じることができるよう、交流の機会をもったり環境の工夫に努めたりする。
- ・保育所や地域の方との交流は、引き続き事前に丁寧に打ち合わせを丁寧に行い、様々な人に関わる経験を積み重ね、地域の一員であることを伝えていく。
- ・あいさつ隊の取組を継続して行い、すすんであいさつをすることを習慣づける。また、日頃からあいさつの大切さについて考えることができるような保育の工夫に努める。

### 取組内容③

- ・年間計画に沿って交流を行い、早めに打ち合わせの日程を決める等して、円滑に連携をとる。
- ・活動後に反省会を行い、次の交流に生かすことができるようにする。
- ・幼小の円滑な接続に努め、引き継ぎなどを行う。

### 取組内容④

- ・早めに見通しを立て計画通り行い、保護者に幼稚園理解をしてもらえるような内容の掲示物やパワーポイントを作成する。
- ・日々の保育内容や行事に向けた取組など、わかりやすく発信する。



大阪市立中大淀幼稚園 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「おさんは基本的な生活習慣が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> <li>令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示や朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。</li> </ul>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4、全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上】</p> <p>教職員の資質向上を図り、一人一人の子どもの実態を把握し、子どもの興味・関心にあった保育内容や環境の工夫・充実につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育の打ち合わせを実施する。 週1回</li> <li>就学前教育カリキュラムを活用して環境を伴った週案・日案を立案する。毎日</li> <li>園内研究保育や指導要請を実施する。 年6回</li> </ul>	A
<p>取組内容②【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>のびのびと体を動かして遊び、その楽しさを味わう子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に沿って体を動かす内容を取り入れた保育を行う。 年20回以上</li> <li>体を動かして遊びたいような環境の見直しをする。 月1回</li> </ul>	A
<p>取組内容③【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>自分の体を大切にしようという気持ちをもつことができるように、生活習慣の指導を行う。</p>	A

指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画を作成し、基本的な生活習慣に関する保健指導を行う。 学期 1 回以上</li> <li>教職員が子どもの実態に応じた病気やけが等の対応について研修を行う。 年 3 回</li> <li>清潔調べを実施する。 月 1 回</li> <li>保健指導内容をパワーポイントや掲示などで保護者に知らせる。 学期 1 回</li> </ul>	
----	---	--

取組内容④【施策 7、健康や体力を保持増進する力の育成】		A
食べ物に興味関心をもつことができるよう、3色バランスよく食べることの大切さを指導する。		
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育だよりを発行する。 学期 1 回</li> <li>朝食チェックシートを配付する。 学期 1 回</li> <li>食育に関する保健指導を行う。 年 3 回</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①								
<ul style="list-style-type: none"> <li>2月のアンケート調査「お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」の項目は肯定的な評価が91%、「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目は肯定的評価が91%であった。</li> <li>毎週1回、クラス担任で保育の打ち合わせを行い来週分の週案をたて、子どもたちの遊びや活動についてなど共通理解をはかった。行事前等は、次週の週案について打ち合わせの時間を設けることが難しいこともあったが、日々担任同士で当日・翌日の保育について話し、それを他教諭に伝達し、共通理解した。日常的に職員間でクラスの様子や子どもの様子について伝えあうようにすることで、教職員全員が一人一人の子どもを理解し、教師の働きかけにつながった。</li> <li>担任それぞれが就学前教育カリキュラムを活用して週末に来週分の週案を立案し、「知」・「徳」・「体」の項目で反省を記入することで1週間の活動を振り返ることができた。自分の保育を見直す機会にもなり、知・徳・体がバランスよく育つように心がけることができた。日案は毎日立案し、ねらいや幼児の活動・配慮・反省を記入することで、次の日の保育に備えることができ、日々の活動を振り返ることができた。</li> <li>園内研究保育・指導要請を年6回行う予定であったが、1学期は、行うことができなかった。2学期に0JT、3学期に指導要請を2回のみ行った。就学前教育カリキュラムを活かした保育指導案を作成し、反省・意見交流の時間を設けることで保育の資質向上につながり子どもたちへの次の活動へとつなげることができた。</li> </ul>								
<p>&lt;園内研究・指導要請&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>11月18日 (0JT)</td> <td>A教諭 (4歳児)</td> <td>製作遊び</td> </tr> <tr> <td>1月17日 (指導要請)</td> <td>A教諭 (4歳児) B教諭 (5歳児)</td> <td>表現遊び 表現遊び</td> </tr> </table>			11月18日 (0JT)	A教諭 (4歳児)	製作遊び	1月17日 (指導要請)	A教諭 (4歳児) B教諭 (5歳児)	表現遊び 表現遊び
11月18日 (0JT)	A教諭 (4歳児)	製作遊び						
1月17日 (指導要請)	A教諭 (4歳児) B教諭 (5歳児)	表現遊び 表現遊び						
<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初の計画の1学期に園内研究保育ができなかったことは、保育の資質向上をはかる上では課題が残った。</li> </ul>								
取組内容②								

- ・2月のアンケート調査「お子さんは様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目は肯定的な評価が93%であった。
- ・日常的に体操やダンスを取り入れたことで、楽しく体を動かす姿が見られた。  
好きな遊びの時間に、子どもが自由に遊べるようにしたことで友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じることができた。また、年長児・年少児と一緒にふれあって楽しむ姿も見られた。
- ・広い園庭を活かし、走ったり自転車に乗ったりサッカーをしたりしてのびのびと遊ぶ姿が見られた。
- ・年長児の運動会の姿に刺激を受け、年少児も一本歯下駄や一輪車にも挑戦し、教えてもらうなど、一緒に遊ぶ姿も見られた。
- ・クラスの活動として、年長児はリレーやドッジボールやマラソンや大縄など積極的に行った。
- ・年長児は、運動会前にチャレンジタイムを設けることで子どもたちの意欲も高まり挑戦する姿につながった。
- ・年少児も、リレーや転がしドッジボールやマラソンや縄跳びなどルールのある遊びを知りクラス全員で遊ぶ楽しさを味わった。  
運動の苦手な子どもも、体を動かして遊ぶ姿が見られ、脚力や持久力もついてきたように見られる。
- ・定期的に集会活動を行い、ペアを組んでふれあい遊びや体操を楽しんだ。年長児年少児との交流をもつことで、親しみをもってかかわりあって遊ぶ姿につながった。
- ・行事後も継続して遊びを楽しんでいけるよう、保育の工夫や環境設定を行った。
- ・年度当初、年間計画を立てそれに沿って体を動かす内容を取り入れた保育を行うことを目標としていたが計画が活かされなかった。打ち合せの際に話し合い、計画の見直しについても話し合う必要があったと考える。

### 取組内容③

- ・2月のアンケート調査「お子さんは、基本的な生活習慣が身についていますか」の項目は、肯定的な評価が90%であった。
- ・年度当初に保健指導年間計画を作成し、学期に1回以上は生活習慣について保健指導を実施した。  
(生活習慣についての保健指導)

1学期	生活リズムについて・衣服の着脱・和式トイレの使い方
2学期	朝ごはんの大切さについて
3学期	早寝の大切さについて

- ・3学期には、早く寝ると身体にどのようないいことが起こるのかを「くじられっしゃ」の話をして子どもたちに伝えた。また、くじられっしゃの切符を家に持ち帰ったことで、自宅でも毎日早寝を心掛けられるようにした。
- ・教職員間の共通理解として、学期に一回、職員研修を行った。実施時期を職員会議後に設定したことでしっかりと話し合うことができた。

- ・月1回清潔調べを実施した。全体的にハンカチ・ティッシュを所持する子どもは増えていると感じる。また、手洗い・うがい時に様子を見に行き、正しい手洗い・うがいの方法を声かけしたこ

## 次年度への改善点

### 取組内容①

- ・早目に保育の打ち合せを行い、連携をとりながら保育を進める。
- ・就学前教育カリキュラムを活用し、「知」・「徳」・「体」がバランスよく育つよう保育案を立てる。
- ・年間計画を立て、計画通り園内研究保育や指導要請を実施する。

### 取組内容②

- ・子どもの興味・関心を広げることができるような環境作りを考え、体を動かす機会につなげるよう工夫する。
- ・教職員間で連携をとりながら、体を動かして遊びたくなるような環境構成に努める。
- ・年間計画を見直し、事前事後の打ち合わせをしっかりとし、教職員で共通理解をする。

### 取組内容③

- ・園内の子どもの実態や、地域における感染症の流行状況などを踏まえて年間計画を立て、時期に合った指導内容にする。
- ・基本的な生活習慣は、園と保護者との連携が必要なため、事後指導や保護者への啓発の方法の工夫を考え啓発につなげる。
- ・子どもたちの興味関心を高め、意欲的に取り組むことができるように視覚物を用いた保健指導を行う。
- ・次年度も、園内の実態や地域の感染症等の流行状況を踏まえて研修内容を十分に検討し実施する。
- ・次年度も月1回の清潔調べを実施するとともに、ハンカチ・ティッシュの使い方や身の回りの清潔について指導を行う。
- ・保護者に保健活動について知ってもらう方法を工夫したり、保護者へ発信する機会を設けたりして保護者の理解や協力を得ることができるようにする。

### 取組内容④

- ・時期に合った内容の食育だよりを作成し配付する。園内での食育活動や食育指導の様子なども合わせて掲載し、保護者への啓発を行う。
- ・次年度以降も朝食チェックシートを配付していく。朝食の摂取状況だけでなく朝食の内容等にも着目できるように工夫する。
- ・食への興味関心を高めるためにも教材や環境の工夫を行い食育に関する保健指導を行う。